

祭委員会

全国大会

「小さい子どもを楽しませるための～」など一つのテーマをもって祭りを盛り上げる催しを行う
『屋台部門』（体験なども可）と『パフォーマンス部門』（神輿や盆踊りなど）

地区予選

その地区の大きな祭りに
部門ごとに出し物をし、
お客さんに投票してもらう

県予選

地区予選で行った催しの
ビデオや実演などの
審査員に向けての
プレゼンテーション

本選

ドームなどの大きな会場で
屋台の出店や、舞台設営をし
パフォーマンスを行う
審査員+お客さんの投票で
グランプリを決める

審査基準
技術点、
シンクロニティー、
テーマとの一致性、
芸術点など

全国規模なので
町や地域のPR
にも繋がり、
スポンサーなど
もつく可能性が!

祭委員会をつくることで子どもたちは祭りや行事を盛り上げる方法を模索し、創造性や積極性、協力性が養われます！
また、地域のお祭りに関わることで地域間の繋がりが強くなり、防犯対策や学校以外の子どもの居場所ができます！
何かを一からみんなで考え、作り上げることの大変さ楽しさそして達成感。そして、学校だけじゃなく
地域という大きなコミュニティに目を向けることで広がる視野。
そんな多くのことを学べる場所、それが祭委員会です！

祭りの衰退化

地域の祭りに参加する人、楽しんでる人が減ってきている
屋台の担い手の減少
屋台の価格の上昇 など…



子どもの意欲低下

子どもたちの積極性、自主性の低下
消極的な考え方
ネットやゲームに依存し家にこもりがちになる など…

この2つの問題を解決するためにお祭りを盛り上げる子ども中心の新しい組織

祭委員会

を考えました!

祭委員会活動内容

- ・図書委員などのように中学校に各クラス2名～
(高校も設置可)
- ・学校行事に積極的に参加
- ・行事を盛り上げるための提案・実行
- ・地域の祭りを盛り上げるために参加
- ・運営の手伝い、イベント等の計画
- ・年中の地域祭りのどれかに屋台や催しを行う
(みんなが参加したり、楽しめたりするもの考える)



- ・わたあめなど屋台の体験
- ・ダンスや盆踊り
- ・自作のヨーヨー釣りなど
地域の特徴や生徒の個性を
活かした催しを行うといい!